

地区審判委員長各位
サッカー4級審判員各位

2018年5月吉日
一般社団法人 秋田県サッカー協会 審判委員会
委員長 高橋 寿

2019年度 サッカー3級審判員資格認定審査について

日頃、審判活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

2019年度のサッカー3級審判員の資格認定審査を開催いたしますのでお知らせいたします。

受験を希望される方は下記内容をご確認いただきお申込みください。

1. 主催

一般社団法人 秋田県サッカー協会

2. 3級審判員の技能の区分について

3級審判員は秋田県サッカー協会が主催する試合の主審および、東北協会が主催する試合の副審を行うことが出来る。

3. 開催スケジュール

開催日	9月9日(日) (諸事情によっては変更の可能性あり)
受付時間	12:30～
受付場所	未定 (参加者を確認してから決定します)
筆記試験開始	13:00～14:00
フィットネステスト	14:30～17:00 (予定)

4. 受験申込の手順

受験希望者は各種別委員長か直接地区協会の審判委員長に届け出る。

(流れ) → ①本人→各種別委員長→地区協会審判委員長→佐藤悠樹

②本人→直接地区協会審判委員長→佐藤悠樹

届け出の締め切りは平成30年7月30日です。

※8月末までに3人制審判の主審実技を2試合以上行い、必ず地区審判インストラクターから合格判定を受ける事。(実技満点のうち80%以上で合格)

ここで合格できないと筆記及びフィットネス試験を受けることができません。

合格判定を受けた方はkickoffから受験の申し込みをしていただきます。

5. 資格要件

次の条件を満たす方が受験できます。

(1) 年齢

年齢は問いません。(ですが、中学校1年で4級、その翌年受験が望ましいでしょう)

(2) 対象者

サッカー4級審判員として登録し審判実績を有するもの。

(3) 審判実績

- ① **主審実績**5試合以上、副審1試合以上、実績総合10試合以上で、その中には**必ずインストラクターがついたU-15以上の3人制審判の主審が2試合以上、または一人審判制の主審が1試合以上、他は3人制審判の主審** (インストラクターは合否判定レポートを地区協

会審判委員長と佐藤まで送ってください)。見極めは必ず3人制審判でお願いします。

② 補足 主審実績について (主審経験)

- ◇ 審判員として登録されていた期間の試合が対象になります。30年度に初登録の方は不可。登録のしなおし(再登録)は過去の実績も可。
- ◇ レフェリーダイアリー(審判手帳)に審判実績が記載されている事。
- ◇ 1日の審判実績は2試合までを審査の対象にする。
- ◇ 8人制サッカーの試合(他、対外練習試合)は主審実績に含みます。記録を残している事。
- ◇ 同一チーム内紅白戦やフットサルの審判は実績に含みません。

③ その他 不明な点は地区協会審判委員長を通して佐藤までご連絡ください。

(4) 保険加入(保険に加入していることが望ましい)

体力テスト・実技テストを実施する方は受傷時に適用可能なスポーツ障害保険などに加入していること。当協会では怪我等による責任は負いません。

(5) 不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負えること。ユース審判員は保護者の承諾必須

(6) 3級審判員に昇級後は、秋田県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

(7) 3級審判員に合格した場合、3級審判員認定講習会に参加出来る方。

(8) その他 (必須条件です)

Webで受験申し込みが出来ること。

Kick Offの審判登録情報に必ずご本人が受け取れるメールアドレスが登録してあること(PCのアドレスが望ましいが携帯アドレスも可。しかし、エクセル及びワード文書・ファイルが読み込めること)。

6. 理由に関わらず入金後に受験をキャンセルした場合は返金出来ませんのでご了承ください。

◆日本協会 HP アドレス <http://www.jfa.jp/jfatop/kickoff.html>

7. 資格要件の確認

審判委員会にて試験時に要件を確認させていただきます。

#. 要件を満たさない場合は受験出来ません。

8. テスト内容と合格基準

8月末日までの実技で審判アセッサーの評価が8.0点以上を合格とします。

① 競技規則筆記試験 80点以上を合格とします。

② フィットネス試験(インターバル走)

75mラン-25mウォーク×40本 (75m25秒-25m30秒)

9. 合否判定

実技、①、②、の結果を秋田県サッカー協会審判委員会にて審議し合否判定いたします。

10. 認定講習会

合格した方には3級昇級認定講習会に参加していただきます。11月頃予定。

認定講習会に参加した審判員だけが翌年度から3級審判員として活動できます。

以上